

I. 事業の概要

1. 富山県のがん登録

本県では、県内におけるがん患者の罹患状況の実態を把握し、発生の疫学的要因を明らかにすることを目的とし、昭和62年から富山県地域がん登録を実施してきた。

こうした中、平成28年1月のがん登録等の推進に関する法律（平成25年法律第111号。以下「法」という。）が施行され、「地域がん登録」から「全国がん登録」制度へ移行した。

これまでの「地域がん登録」では、各都道府県が独自に協力医療機関（本県では24病院（平成27年度））からがん情報を収集・分析していたが、「全国がん登録」制度の施行に伴い、全ての病院（診療所は手上げ方式）が対象となり、集められた情報は都道府県の「がん登録室」を経由して、国立がん研究センターの「全国がん登録データベース」において一元管理されている。

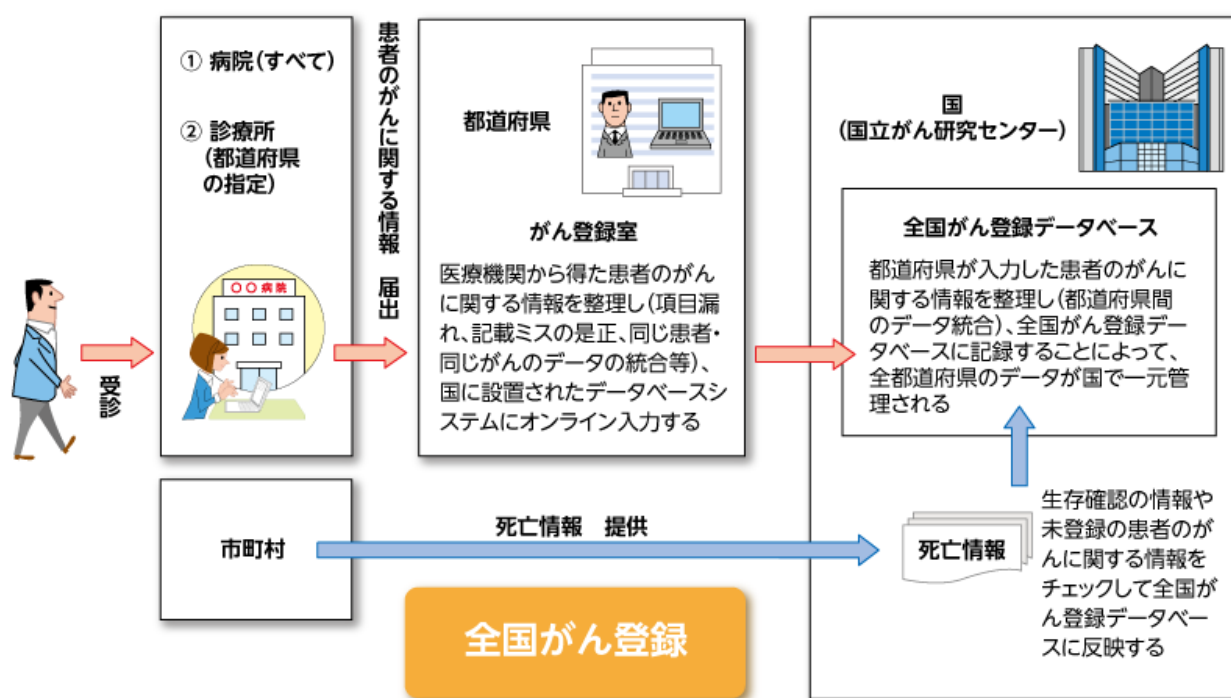
2. 全国がん登録事業の目的

全国がん登録は、がん医療の質の向上、がんの予防の推進、情報提供の充実およびその他のがん対策を科学的知見に基づき実施するため、がんの罹患、治療、転帰等の状況を把握し、分析することを目的とする。

3. 対象

法により、がんの初回の診断が行われたとして全ての病院及び指定された診療所から都道府県知事に届け出られた者及び市町村長から報告される死亡者情報票によって把握されたがんによる死亡者。

図A 全国がん登録事業体系図



(国立がん研究センターHP「がん情報サービス」より)

4. 情報の利用について

法に基づき集められたがんの罹患の情報（がん登録情報）は、がんに係る調査研究、あるいは、がん対策の企画立案又は実施のために必要な調査研究以外の目的では使用されない。

また、がん登録情報の公表の際は、特定の個人の識別を可能とする情報は公表されない。

5. 収集項目

1) 届出項目一覧

項目番号	項目名
1	病院等の名称
2	診療録番号
3	カナ氏名
4	氏名
5	性別
6	生年月日
7	診断時住所
8	側性
9	原発部位
10	病理診断
11	診断施設
12	治療施設
13	診断根拠
14	診断日
15	発見経緯
16	進展度・治療前
17	進展度・術後病理学的
18	外科的治療の有無
19	鏡視下治療の有無
20	内視鏡的治療の有無
21	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲
22	放射線治療の有無
23	化学療法の有無
24	内分泌療法の有無
25	その他の治療の有無
26	死亡日

届出票見本

見本 電子届出票 届出申出書

発行日付

有効期限 2018年11月24日

<<チェックが完了していません>>
右下の「確定」ボタンを押してください

全国がん登録 届出申出書

届出種別を選択してください

届出種別

☒ 届出票

☐ CSVファイル添付

電子届出ファイルの使い方

■届出票

1. 届出申出書に病院・届出担当者情報を入力してください
2. 届出票に情報を入力してください
※最大10件まで入力できます
3. 「確定」ボタンを押して、PDFファイルを保存してください

■CSVファイル添付

1. 届出申出書に病院・届出担当者情報を入力してください
2. CSVファイルを添付してください
3. 「確定」ボタンを押して、PDFファイルを保存してください

病院・届出担当者情報を入力してください

都道府県 病院等の名称	東京都 ■テスト病院
病院等の所在地	東京都
管理者氏名	テスト 病院
届出担当者氏名	テスト 病院
届出担当者電話番号	1
届出担当者メールアドレス	
届出担当者FAX	
届出票件数	
添付ファイル件数	
添付ファイル内件数	
コメント	

(全半角256文字)

初期化

確定

届出票見本

見本 電子届出票 全国がん登録届出票

チェックすると入力できるようになります

☒ 全国がん登録届出票①

①病院等の名称		13009 東京都 病院					
②診療録番号		1 2 3 4 5 (全半角16文字)					
③カナ氏名		シ	コクリツ	(全角カナ10文字)	メイ	タロウ	(全角カナ10文字)
④氏名		氏	国立	(全角10文字)	名	太郎	(全角10文字)
⑤性別		☒ 1. 男性 ☐ 2. 女性					
⑥生年月日		☒ 0. 西暦 ☐ 1. 明 ☐ 2. 大 ☐ 3. 昭 ☐ 4. 平 ☐ 5. 令 年 月 日					
⑦診断時住所		都道府県選択 東京都 (全半角40文字)					
		市区町村以下 中央区築地					
腫瘍の種類	⑧側性	☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☒ 7. 側性なし ☐ 9. 不明					
	⑨原発部位	大分類 脳、脊髄、脳神経その他の中枢神経系					
	⑩病理診断	組織型・性状 海綿状血管腫 C71.0 9121/0					
診断情報	⑪診断施設	☒ 1. 自施設診断 ☐ 2. 他施設診断					
	⑫治療施設	☐ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 ☒ 2. 自施設で初回治療を開始 ☐ 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 ☐ 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 ☐ 8. その他					
	⑬診断根拠	☒ 1. 原発巣の組織診 ☐ 2. 転移巣の組織診 ☐ 3. 細胞診 ☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5. 臨床検査 ☐ 6. 臨床診断 ☐ 9. 不明					
	⑭診断日	☒ 0. 西暦 ☐ 4. 平 ☐ 5. 令 年 月 日					
	⑮発見経緯	☒ 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見 ☐ 4. 剖検発見 ☐ 8. その他 ☐ 9. 不明					
進行度	⑯進展度・治療前	☒ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☐ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 430. 隣接臓器浸潤 ☐ 440. 遠隔転移 ☐ 777. 該当せず ☐ 499. 不明					
	⑰進展度・術後病理学的	☒ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☐ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 430. 隣接臓器浸潤 ☐ 440. 遠隔転移 ☐ 660. 手術なし・術前治療後 ☐ 777. 該当せず ☐ 499. 不明					
初回治療	⑱外科的	☒ 1. 自施設で施行 ☐ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明					
	⑲鏡視下	☒ 1. 自施設で施行 ☐ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明					
	⑳内視鏡的	☒ 1. 自施設で施行 ☐ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明					
	㉑観血的治療の範囲	☒ 1. 腫瘍遺残なし ☐ 4. 腫瘍遺残あり ☐ 6. 観血的治療なし ☐ 9. 不明					
	㉒放射線療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明					
	㉓化学療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明					
	㉔内分泌療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明					
	㉕その他治療	☐ 1. 自施設で施行 ☐ 2. 自施設で施行なし ☒ 9. 施行の有無不明					
㉖死亡日		☐ 0. 西暦 ☐ 4. 平 ☐ 5. 令 年 月 日					
備考		(全半角128文字)					

(国立がん研究センター「全国がん登録届出マニュアル2022」より)

がん登録等の推進に関する法律の概要

がん登録等（全国がん登録・院内がん登録等の方法によるがん診療情報の収集）

○「全国がん登録」：国・都道府県による利用・提供の用に供するため、国が国内におけるがんの罹患、診療、転帰等に関する情報をデータベースに記録し、保存すること

○「院内がん登録」：病院において、がん医療の状況を適確に把握するため、がんの罹患、診療、転帰等に関する詳細な情報を記録し、保存すること

➡がん医療の質の向上等（がん医療・がん検診の質の向上とがん予防の推進）、国民に対するがん・がん医療等・がん予防についての情報提供の充実その他のがん対策を科学的知見に基づき実施

基本理念

○全国がん登録では、広範な情報収集により、罹患、診療、転帰等の状況をできる限り正確に把握

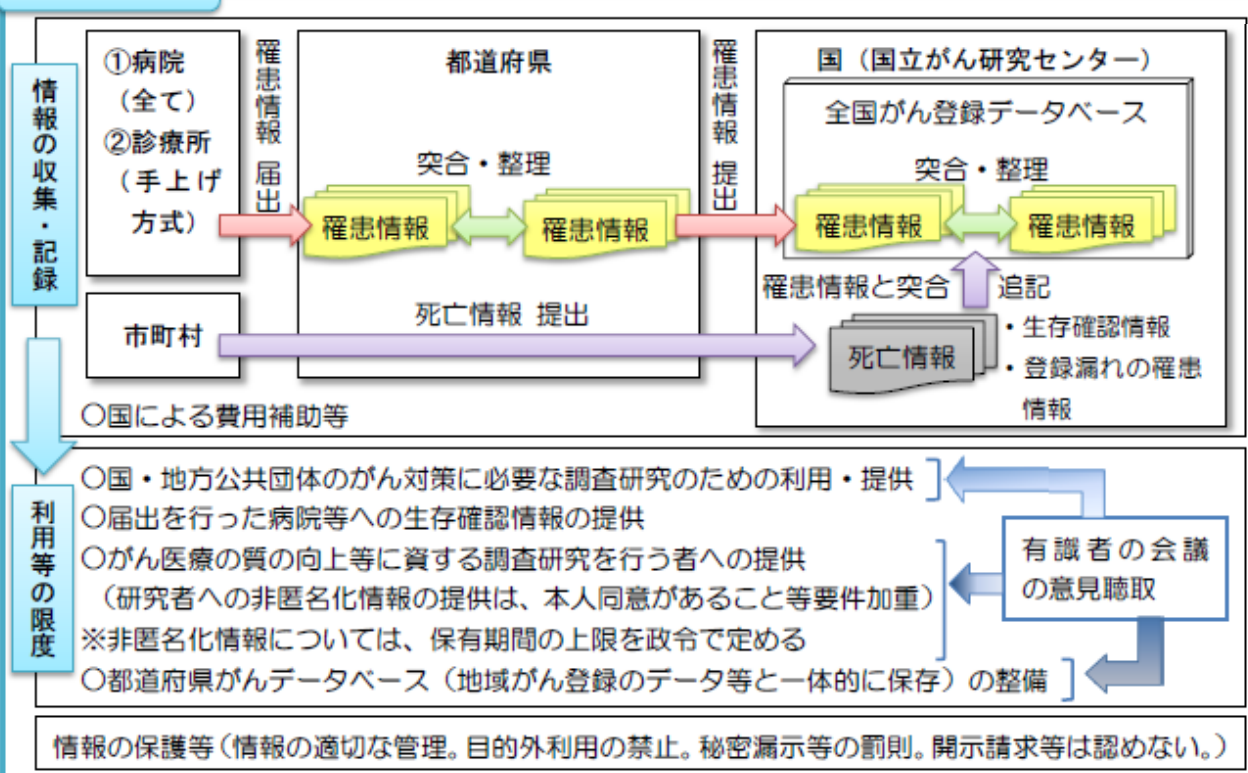
○院内がん登録について、全国がん登録を通じて必要な情報を確実に得させ、その普及・充実を図る

○がん対策の充実のため、全国がん登録のほか、がんの診療に関する詳細な情報の収集を図る

○がん登録等の情報について、民間を含めがんに係る調査研究に活用、その成果を国民に還元

○がん登録等に係る個人に関する情報を厳格に保護

全国がん登録



院内がん登録等の推進（院内がん登録の推進、国によるがん診療情報の収集等のための体制整備）

人材の育成（全国がん登録・院内がん登録の事務に従事する人材の確保等のための必要な研修等）

がん登録等の情報の活用

○国・都道府県等⇒がん対策の充実、医療機関への情報提供、統計等の公表、患者等への相談支援

○医療機関⇒患者等に対する適切な情報提供、がん医療の分析・評価等、がん医療の質の向上

○がん登録等の情報の提供を受けた研究者⇒がん医療の質の向上等に貢献

（厚生労働省HPより）

6. 用語の定義

罹患数

対象とする人口集団から、一定の期間に、新たにがんと診断された数。

一定の期間：通常1年間（年度ではない）

がんの数：がんと診断された患者の数ではなく、同じ人に複数のがん（多重がん）が診断された場合には、それぞれの診断年で、集計に含まれる。

罹患率

一定期間内における罹患数を登録対象地域の人口で割ったものであり、通常は1年間の10万人あたりの罹患数で表現される。

部位割合

部位割合＝部位別年間がん罹患数÷年間がん罹患数×100

粗罹患（死亡）率

一定期間の罹患（死亡）数を単純にその期間の人口で割った罹患（死亡）率。年齢調整をしていないという意味で「粗」がついている。

粗罹患（死亡）率＝年間がん罹患（死亡）数÷人口×100,000

年齢階級別罹患（死亡）率

年齢階級別に算出した罹患（死亡）率。ある集団の異なる年齢層間の罹患（死亡率）率を比較するために、通常5歳階級ごとに（85歳以上はまとめる）算出される。

年齢階級別罹患（死亡）率＝観察集団の各年齢（年齢階級）の罹患（死亡）数
÷その年齢（年齢階級）の人口×100,000

年齢調整罹患（死亡）率

もし人口構成が基準人口と同じだったら実現されたであろう罹患（死亡）率。その地域のがん罹患（死亡）率を、人口構成の異なる他の地域と比較可能にするために、年齢階級別罹患率を一定の基準（本報告書の集計では昭和60年日本モデル人口及び世界モデル人口）にあてはめて算出した指標。

累積罹患率

ある年齢までにある病気と診断されるおおよその確率（ただし、その病気と診断されるまでは死なないという仮定のもとでの確率）。

MI（死亡/罹患）比（Mortality/Incidence Ratio）

一定期間におけるがん死亡数の、がん罹患数に対する比。死亡統計を完全とし、生存率を一定と仮定した場合の、罹患数の完全性の指標。

MI比＝人口動態統計に基づく年間がん死亡数÷年間がん罹患数

MV割合

年間がん罹患数に占める病理学的裏付けのある（原発巣または転移巣の組織診もしくは細胞診などの顕微鏡学的診断でがんと診断された）者の割合（％）であり、罹患統計の質（診断の信頼性）の評価指標。

$$\text{MV}\% = \text{病理学的裏付け（原発巣または転移巣の病理学的組織診もしくは細胞診）のある症例} \div \text{年間がん罹患数} \times 100$$

HV割合 (histologically verified cases)

$$\text{HV}\% = \text{組織学的裏付け（原発巣または転移巣の組織診）のある症例} \div \text{年間がん罹患数} \times 100$$

DCI (Death Certificate Initiated)

年間がん罹患数に占める、死亡者情報票ではじめて把握されたがん及び遡り調査で確認されたがんの割合。

$$\text{DCI}\% = \text{死亡情報のみで登録されたがん及び遡り調査で確認されたがん} \div \text{年間がん罹患数} \times 100$$

DCO (Death Certificate Only)

年間がん罹患数に占める、死亡情報のみで登録されたがんの割合で、がん登録の精度指標。

$$\text{DCO}\% = \text{死亡情報のみで登録されたがん} \div \text{年間がん罹患数} \times 100$$

都道府県がん情報 標準集計表

基本分類による部位別のがんの罹患数・率を、性別、年齢階級、治療情報等の項目別に集計したものである。基本分類として国際疾病分類（ICD-10）から抽出した項目は、アルファベットの太文字と数字2桁で表示される。本表は、それぞれ、A 及びB の2表から構成され、A は浸潤がんのみ（C00-C96）、B は上皮内がんを含めた表となっている（基本分類表を次頁に掲載）。

基本分類 A 表

部位名	ICD10 コード
全部位	C00-C96 (死亡はC00-C97)
口腔・咽頭	C00-C14
食道	C15
胃	C16
大腸 (結腸・直腸)	C18-C20
結腸	C18
直腸	C19-C20
肝および肝内胆管	C22
胆のう・胆管	C23-C24
膵臓	C25
喉頭	C32
肺	C33-C34
皮膚*1	C43-C44
乳房	C50
子宮	C53-C55
子宮頸部	C53
子宮体部	C54
卵巣	C56
前立腺	C61
膀胱	C67
腎・尿路 (膀胱除く)	C64-C66, C68
脳・中枢神経系	C70-C72
甲状腺	C73
悪性リンパ腫	C81-C85, C96
多発性骨髄腫	C88, C90
白血病	C91-C95

*1 悪性黒色腫を含む

基本分類 B 表

部位名	ICD10 コード
全部位*1	C00-C96, D00-D09 (死亡はC00-C97, D00-D09)
食道*1	C15, D001
大腸*1	C18-C20, D010-D012
結腸*1	C18, D010
直腸*1	C19-C20, D011-D012
肺*1	C33-C34, D021-D022
皮膚*1*2	C43-C44, D030-D049
乳房*1	C50, D05
子宮*1	C53-C55, D06
子宮頸*1	C53, D06
膀胱*1	C67, D090

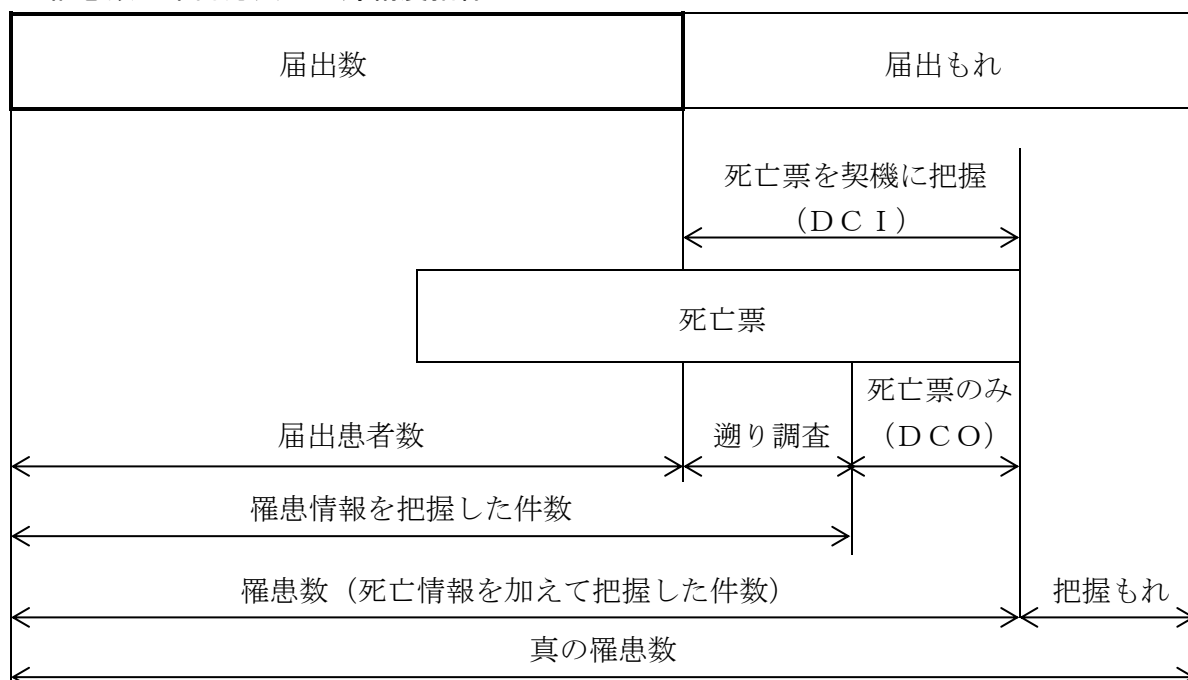
*1 上皮内がんを含む *2 悪性黒色腫を含む

7. 罹患数の集計方法と登録精度

罹患数の集計方法

全国がん登録では、医療機関からの届出情報に、人口動態統計で把握されたがん死亡者情報を照らし合わせて、死亡者情報に記載された患者に該当する届出が全国がん登録にない症例をDCIという。DCIについては、死亡診断を行った医療機関等に対して遡り調査を実施する。回答を得られなかったがんの死亡の数(DCO)と、届出及び遡り調査により把握されたがんの数を罹患数とする。

図B 罹患数の集計方法と登録精度指標



完全性の精度指標

完全性の精度指標では、実際の罹患症例がいかにもれなく登録されているかということについて評価する。指標としてDCI、MI比が用いられる。

DCIは、低いほど完全性が高いと判断でき、高い場合は届出・登録漏れが多く完全性は低い。

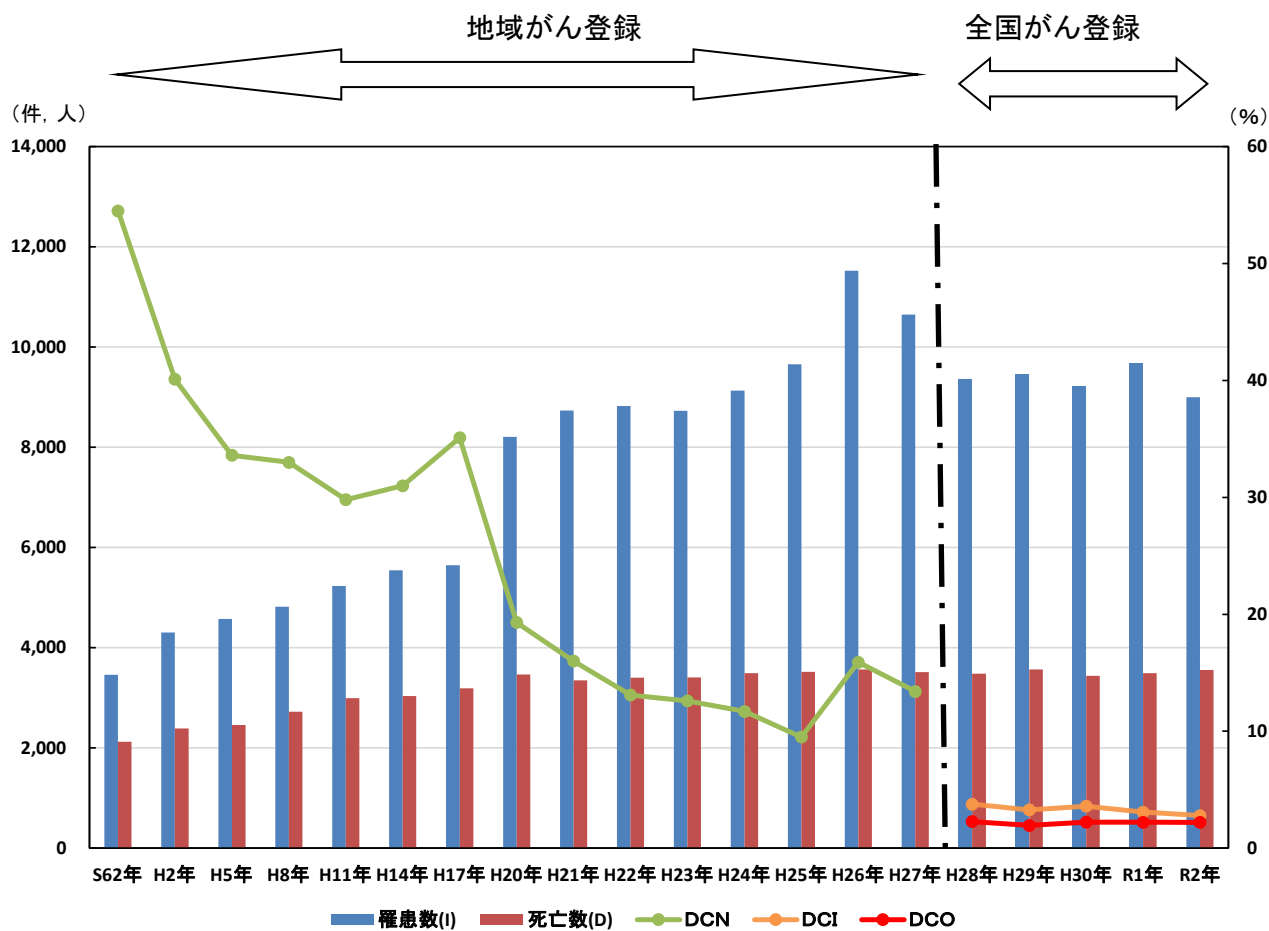
MI比は死亡罹患比のことで、一定期間におけるがんの死亡数とがん罹患数の比である。生存率が低い場合、あるいは届出が不十分な場合に高くなる。一方、生存率が高い場合、あるいは同一のがん患者の同定過程に問題があり、誤って重複登録している場合に低くなる。

診断精度の指標

診断精度の指標では、がん罹患情報として登録された部位や診断時年齢などの罹患情報が、真の罹患状態を正しく反映しているかということについて評価する。精度指標として、MV割合、HV割合、DCOを用いる。

DCOについては、罹患情報が死亡者情報票のみの罹患把握となるため、届出に比べ正確性や詳細性に劣る。そのため、DCOが高いほど質が低いと考えられる。

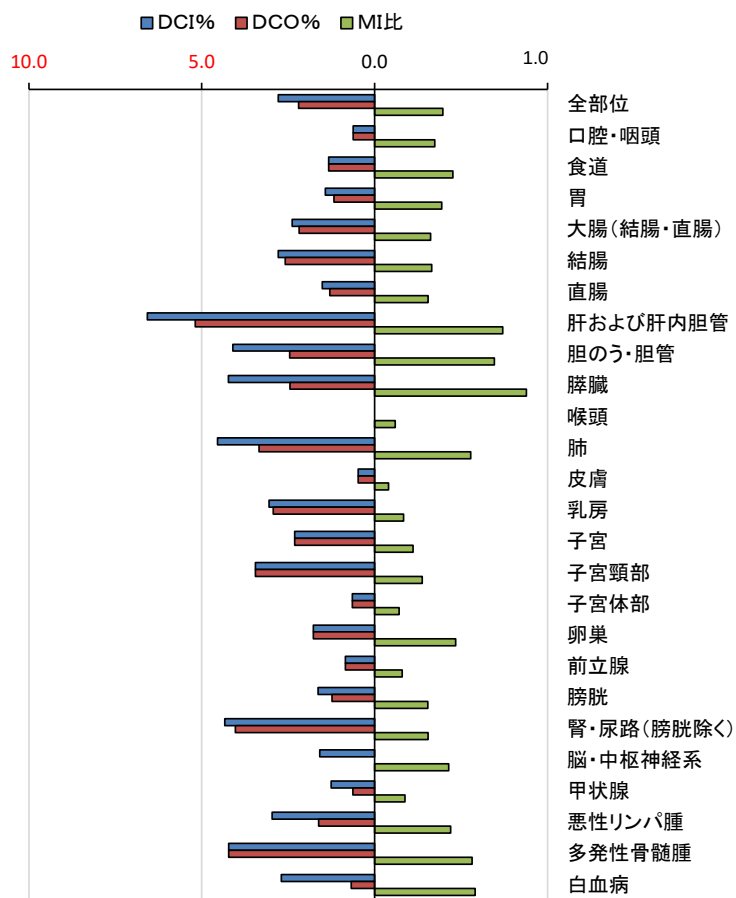
図C 罹患数、死亡数及び精度指標の推移



- ・平成27年は乳房・子宮は上皮内がんを含み、それ以外は上皮内がんを除く
- ・平成28年以降は上皮内がんを除く

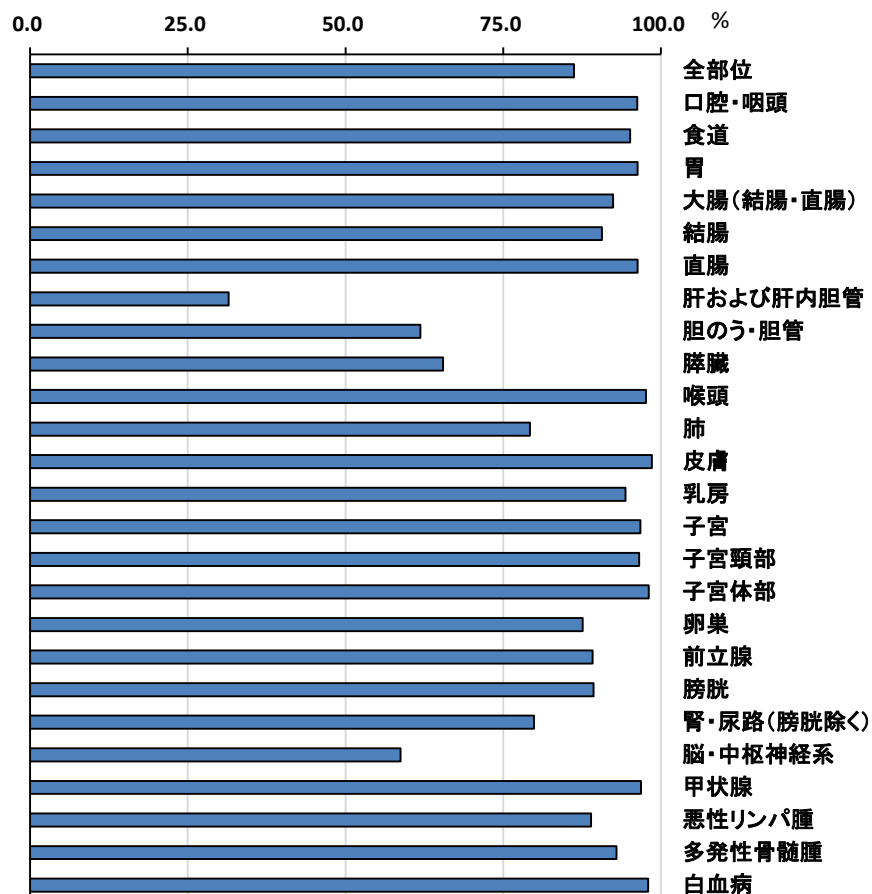
図D 部位別登録精度（R2年、表8-Aから作成）

部位	DCI%	DCO%	MI比
全部位	2.79	2.20	0.40
口腔・咽頭	0.62	0.62	0.35
食道	1.33	1.33	0.45
胃	1.43	1.18	0.39
大腸（結腸・直腸）	2.39	2.18	0.32
結腸	2.79	2.59	0.33
直腸	1.51	1.30	0.31
肝および肝内胆管	6.57	5.19	0.74
胆のう・胆管	4.10	2.46	0.69
膵臓	4.23	2.45	0.88
喉頭	0.00	0.00	0.12
肺	4.55	3.34	0.56
皮膚	0.47	0.47	0.08
乳房	3.06	2.93	0.17
子宮	2.31	2.31	0.22
子宮頸部	3.45	3.45	0.28
子宮体部	0.65	0.65	0.14
卵巣	1.77	1.77	0.47
前立腺	0.84	0.84	0.16
膀胱	1.64	1.23	0.31
腎・尿路（膀胱除く）	4.33	4.02	0.31
脳・中枢神経系	1.59	0.00	0.43
甲状腺	1.26	0.63	0.18
悪性リンパ腫	2.96	1.62	0.44
多発性骨髄腫	4.23	4.23	0.56
白血病	2.70	0.68	0.58



図E 部位別MV% (R2年、表8-Aから作成)

部位	MV%
全部位	86.2
口腔・咽頭	96.3
食道	95.1
胃	96.3
大腸(結腸・直腸)	92.4
結腸	90.6
直腸	96.3
肝および肝内胆管	31.5
胆のう・胆管	61.9
膵臓	65.5
喉頭	97.6
肺	79.2
皮膚	98.6
乳房	94.4
子宮	96.8
子宮頸部	96.6
子宮体部	98.1
卵巣	87.6
前立腺	89.2
膀胱	89.3
腎・尿路(膀胱除く)	79.9
脳・中枢神経系	58.7
甲状腺	96.9
悪性リンパ腫	88.9
多発性骨髄腫	93.0
白血病	98.0



8. 人口と死亡統計

人口

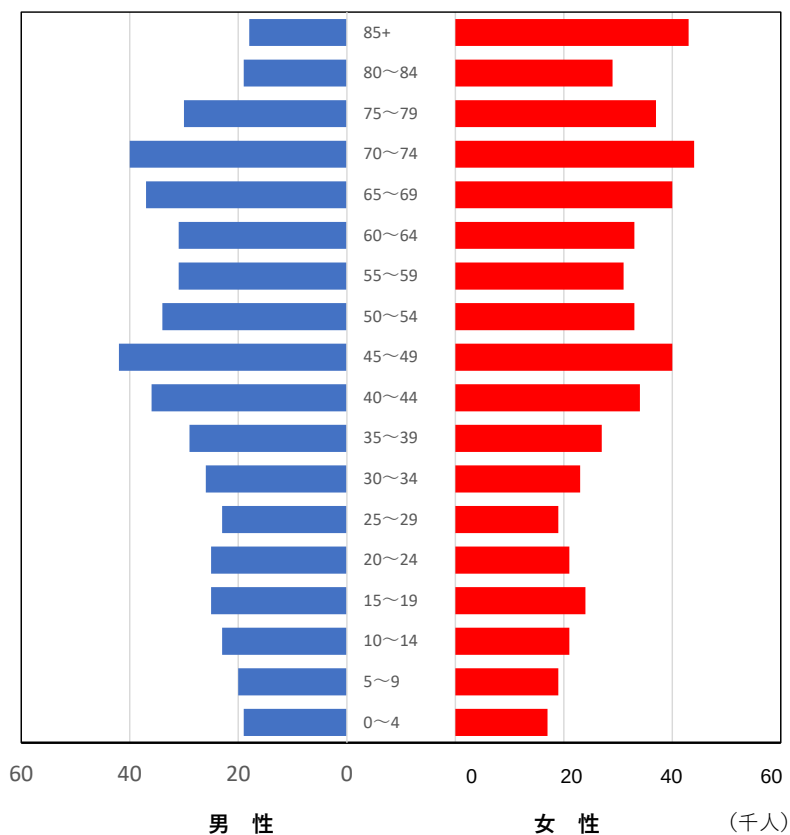
率の算出には総務省統計局が提供する都道府県別人口データを用いた。なお、罹患率の計算には総人口を、死亡率の計算には日本人人口を用いた。

死亡

死亡統計の全国値については、国立がん研究センターがん情報センターが公表している人口動態統計による「全国がん死亡データ（1958年～2021年）」を用いた。

図 F-1 富山県人口構造（R2年）

年齢階級	男性	女性
0～4歳	17,000	16,000
5～9	20,000	19,000
10～14	22,000	21,000
15～19	24,000	22,000
20～24	22,000	19,000
25～29	22,000	20,000
30～34	24,000	22,000
35～39	28,000	26,000
40～44	34,000	31,000
45～49	42,000	39,000
50～54	34,000	33,000
55～59	31,000	31,000
60～64	30,000	31,000
65～69	34,000	37,000
70～74	42,000	47,000
75～79	29,000	36,000
80～84	20,000	29,000
85+	18,000	44,000
総数	506,000	537,000



（総務省統計局「人口推計」より作成）